

荷待ち時間調査の結果について

荷待ち時間のサンプル調査について(速報値)

○ 荷待ち時間のサンプル調査について

荷待ち時間の削減に向けた取組に活用することを目的として、新たに7月から義務付けた荷待ち時間等の記録を基にサンプル調査・分析を実施(荷待ち時間の記録義務付けの対象となっている、荷主の都合で30分以上の荷待ちが発生したものが対象※)。

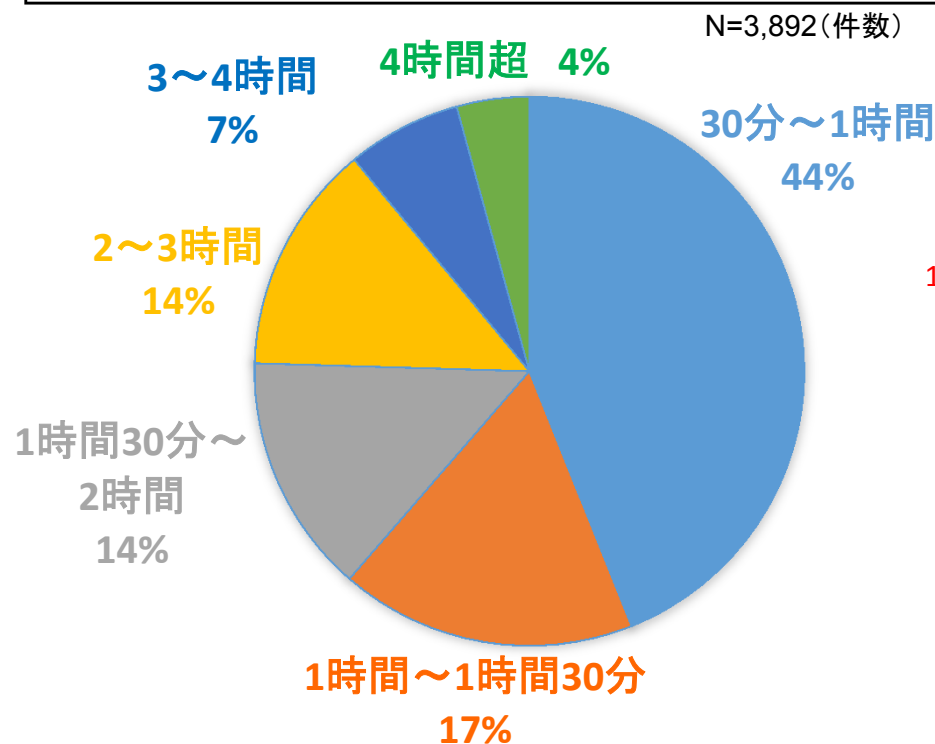
○ 調査方法について

- ・調査対象の規模は、全日本トラック協会を通して約5,000者へ調査票を配布
- ・7月第1週～第2週の運行について、トラック運送事業者から報告

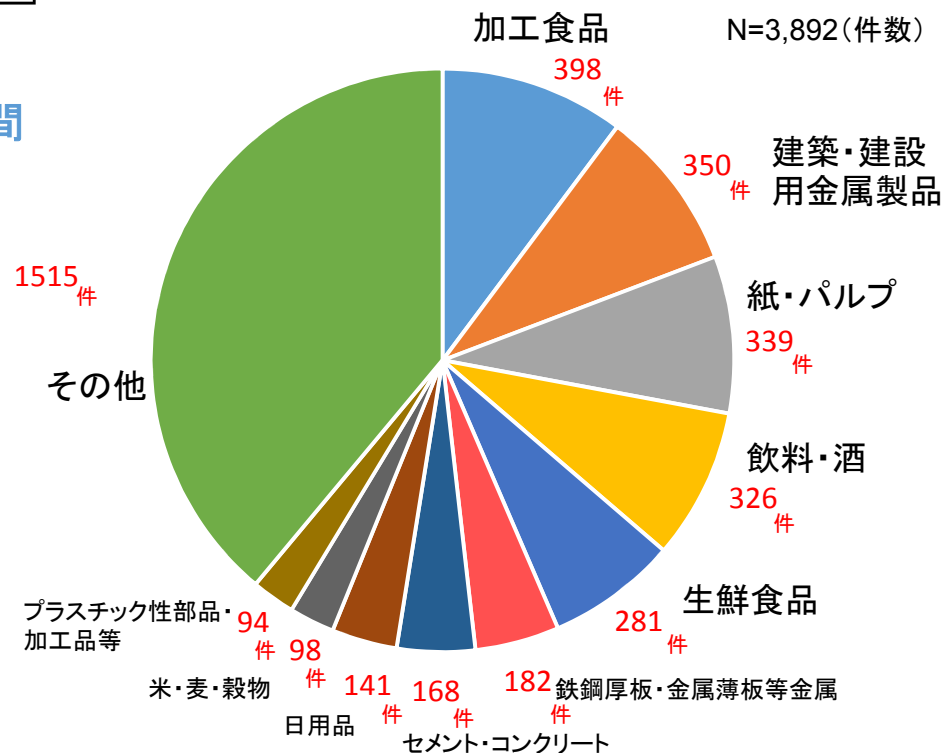
○ 調査結果について

- ・約300者より、3,892件の回答(上記※)に該当するもの)
- ・また、これらの結果を元に生産性向上セミナーなどの説明会の場を通じて荷主に働きかけを行う

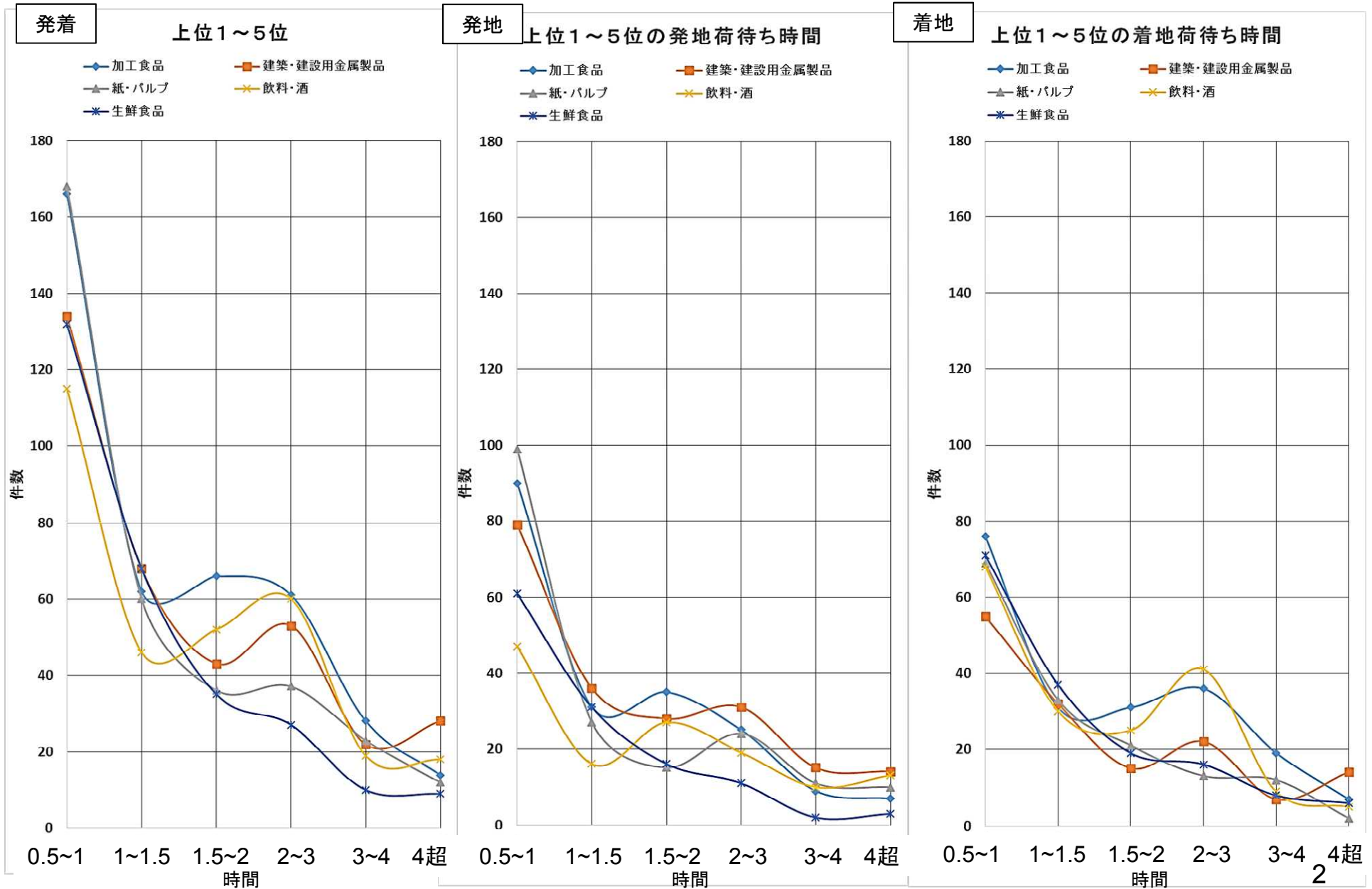
今回のサンプル調査における1カ所あたりの荷待ち時間の分布



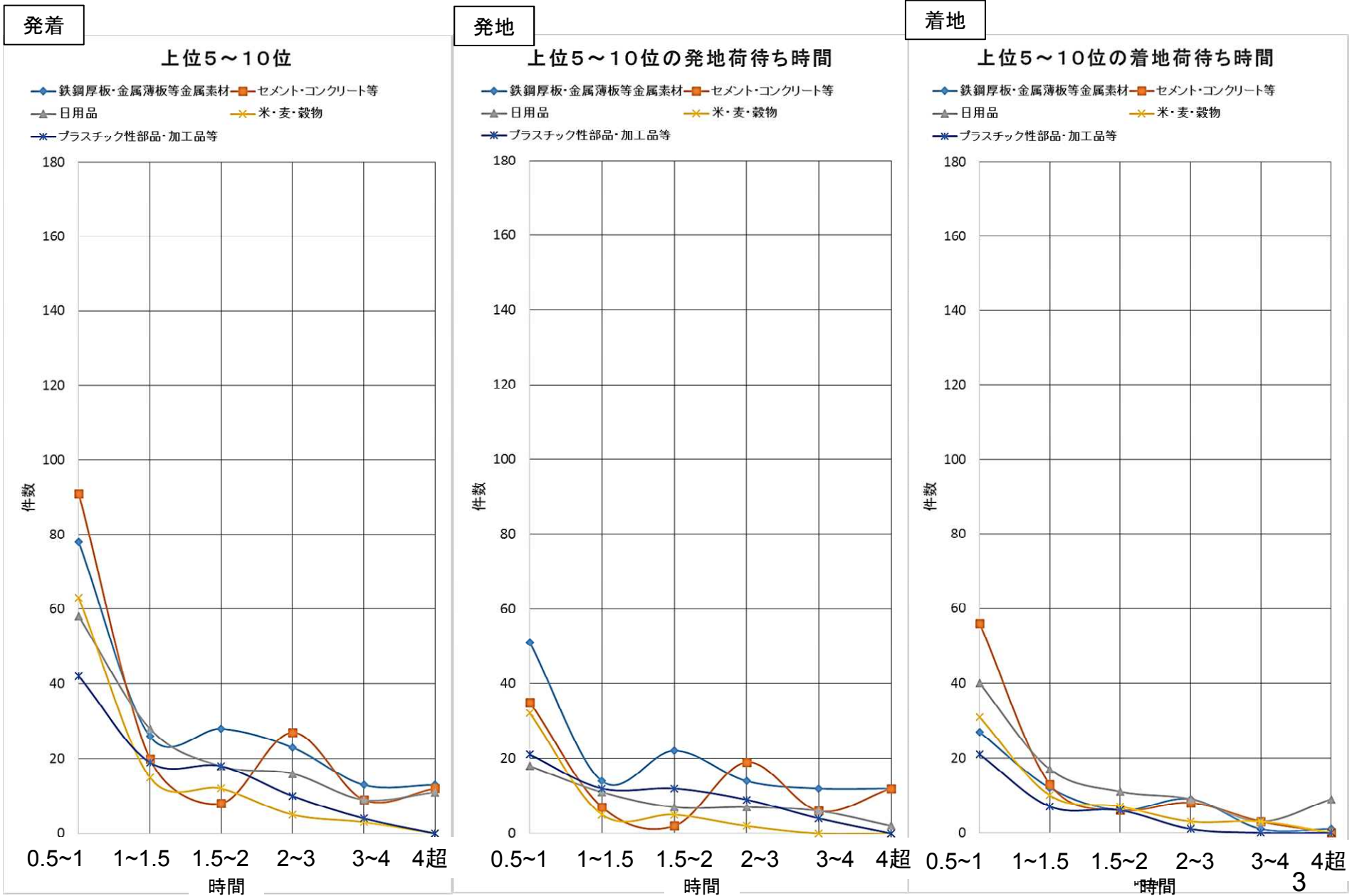
今回のサンプル調査における輸送品目別件数



荷待ち時間サンプル調査集計結果(速報版)

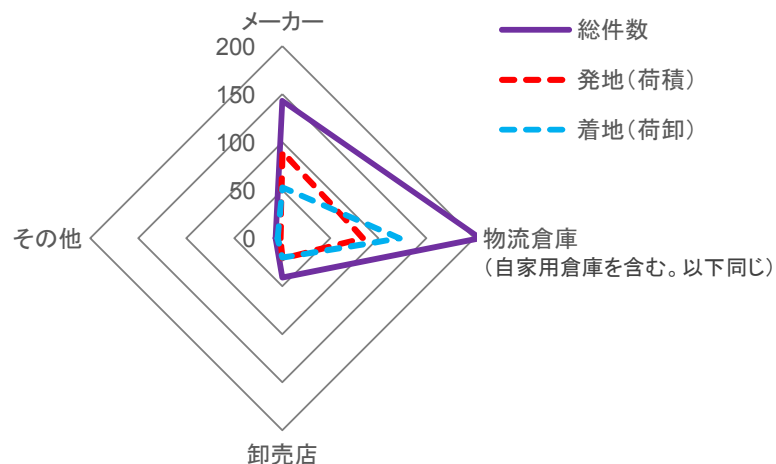


荷待ち時間サンプル調査集計結果(速報版)

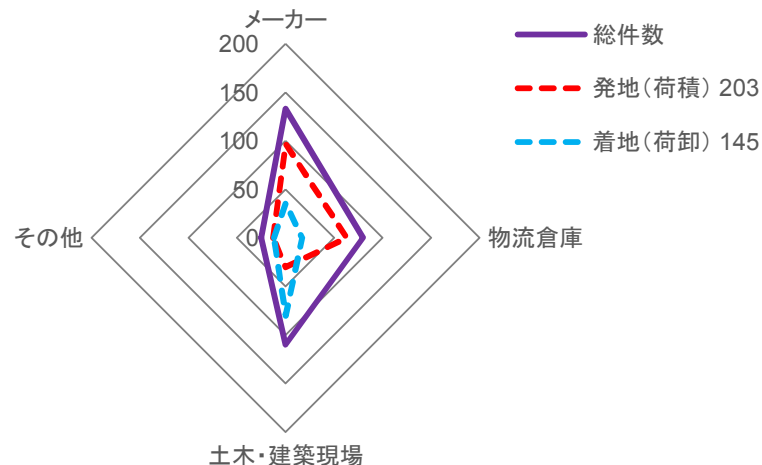


荷待ち時間サンプル調査集計結果(速報版)

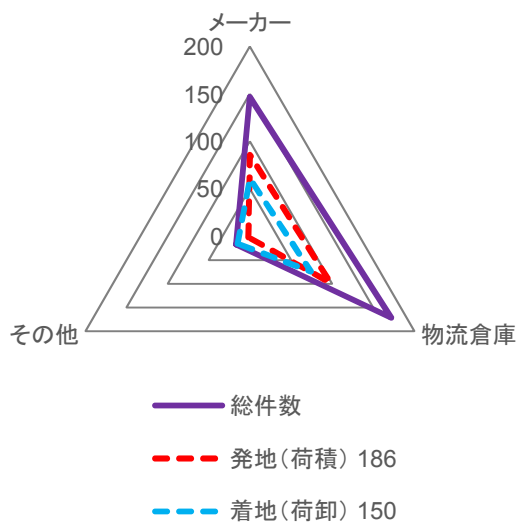
加工食品



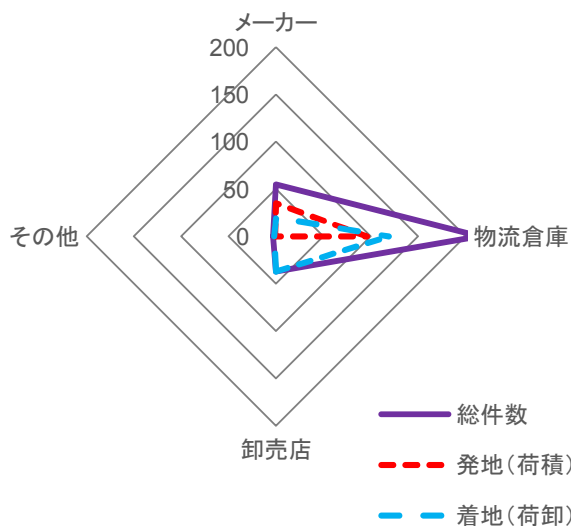
建築・建設用金属製品



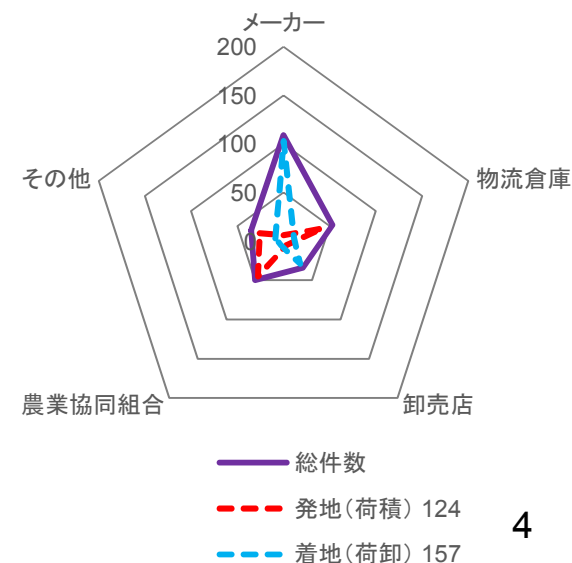
紙・パルプ



飲料・酒

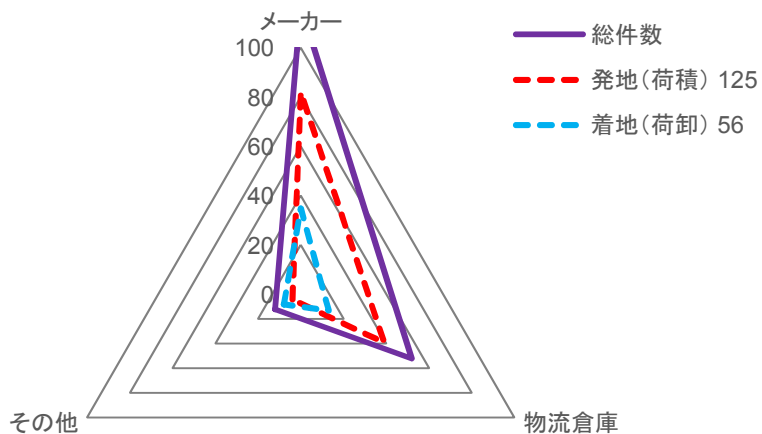


生鮮食品

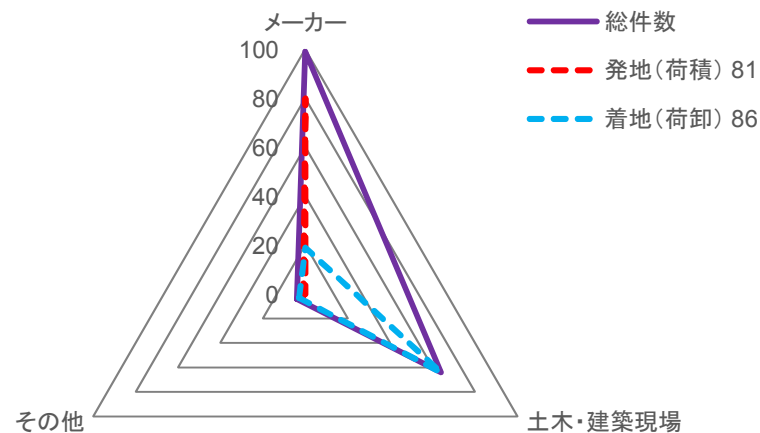


荷待ち時間サンプル調査集計結果(速報版)

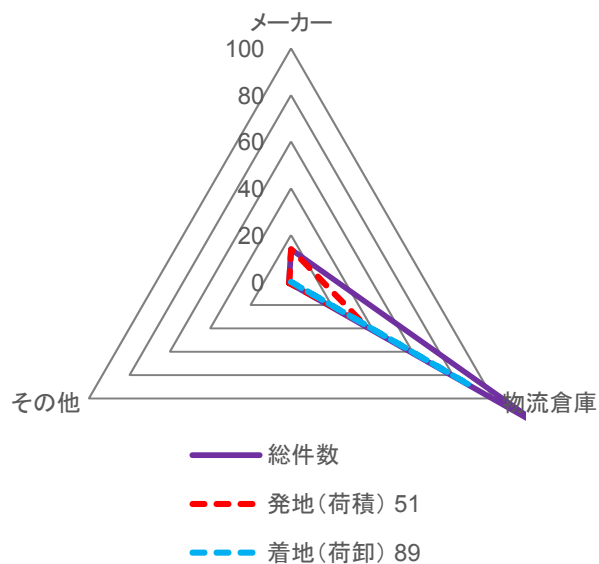
※4ページのグラフとはスケールが異なっています
 鉄鋼厚板・金属薄板等金属素材



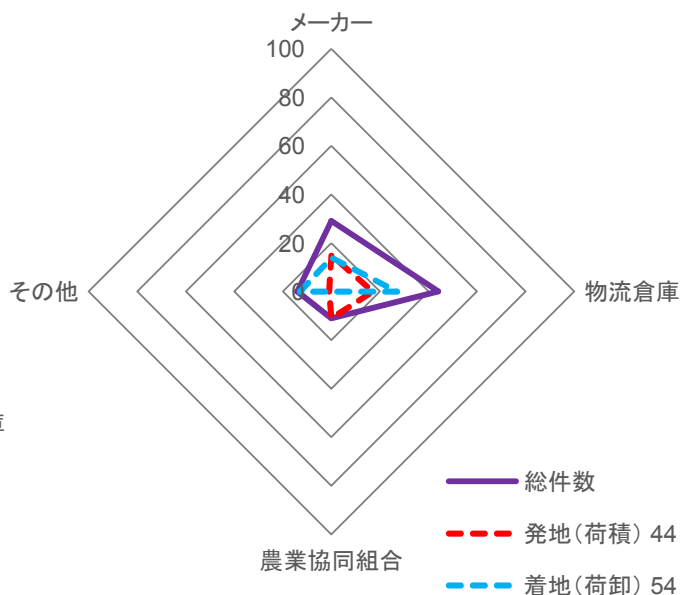
セメント・コンクリート



日用品



米・麦・穀物



プラスチック性部品・加工品等

